

SEEDs取組事例：市役所内のペットボトル分別促進ナッジ

【趣旨】

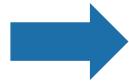
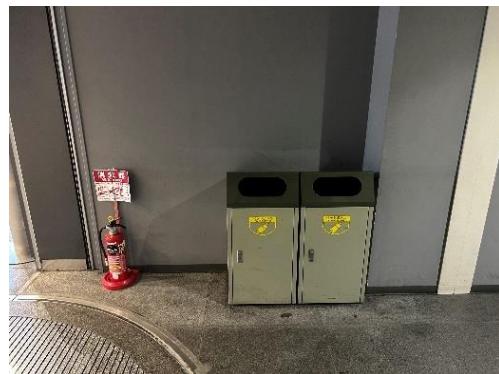
ベストナッジ賞を受賞した泉北高校のペットボトル分別促進ナッジの取組について、不特定多数の人がごみ箱を利用する状況においても同様の効果が得られるか検証するため、堺市役所内で実験を行った。

【課題（ボトルネック）】

- ・ペットボトルを分別せず（キャップとラベルを外さず）ごみ箱に捨てる

【概要】

- 対象 堀市役所本庁舎1階ロビー（本館と高層館の連絡通路付近）のごみ箱を利用する市民等
- 期間 2024年3月13日～3月27日
- 内容
 - ・ペットボトルごみ箱を中身が見えるものに変更（ごみ箱にはキャップとラベルを分別したペットボトルを数本入れておく）
 - ・キャップとラベルの分別方法を案内する手書きポスターをごみ箱付近に掲示



【活用したナッジ】

- ・ごみ箱の透明化による社会的圧力の付加（Social）
- ・ごみ箱前へのメッセージ掲示（Timely）
- ・手書きメッセージで関心を引く（Attractive）

【結果及び考察】

- ・ペットボトル分別率が約66.8%pt向上した。また、飲料を残したまま捨てられるペットボトルが減るなどの副次的な効果も確認できた。
- ・泉北高校の取組では同じナッジによる分別率向上効果は約47.3%ptであったため、不特定多数の人がごみ箱を利用する状況ではより一層ペットボトルの分別を促せる可能性があり、商業施設等様々な場所での展開が期待できる。

	介入前 平均	介入後 平均	差 (%pt)
ペットボトル 分別率	15.11%	81.90%	+66.80*
異物混入率	1.93%	1.55%	-1.39

*対応のないt検定により統計的有意性を検証